

① 学習指導案「62 とべまち絵本」

1 単元の構想

(1) 子どもの思いと教師の願い

今までの生活や総合を振り返り、今年度の総合で大切にしたいことを話し合うと、「今まで目を向けていなかった小さな子を笑顔にしたい。」「戸部のまちの役に立つことがしたい。」「クラスだけでなく、戸部のまちの人と関わりたい。」という意見が出た。そこで、西区役所の方や幼稚園の先生に、まちの課題や小さな子や小さな子に関わる人が困っていることについて話を聞いた。そして、「戸部のまちの関わりやあたたかさについて、小さな子や保護者に知ってもらい、戸部のまちで安心して楽しく過ごしたり、もっと戸部のまちを好きになつたりしてほしい」という思いを高めていった。

絵本は、読むことに浸ることができ、想像豊かに遊ぶことができる。また、読み聞かせることで、読み手との信頼関係を築くことができる。そのような絵本をつくることを通して、1つのものをつくり上げる難しさや役割分担する大切さを感じてほしい。そして、まちの方や絵本作家の方の思いを知り、小さな子を含めたまちの人とのつながりを大切にすることのよさに気づき、実現するために粘り強く取り組んでほしい。まちの人のために絵本をつくったり、読み聞かせたりする自分たちの活動に自信をもち、これからもまちの一員としてできることを考え、取り組んでいこうとする思いをもてるようにしたい。

(2) 学習材について

本単元の探究課題：絵本づくりを通して伝える戸部のまちの人々のあたたかさ		
学習対象	学習内容	期待する子どもの変容
・絵本 ・読み聞かせ ＜文化＞	絵本は、絵と言葉を効果的に使い、小さな子に分かりやすく伝えることができること。 絵本を読んでもらうことで、読み手と聞き手とのつながりを生むことができること。	戸部のまちのあたたかさを絵本の力で伝えることができたね。 読み聞かせすることで新たなあたたかさが生まれているね。
・絵本作家Sさん ＜キャリア＞	自分の伝えたいこと、読む相手のことを大切に考え、何度も試行錯誤を繰り返し熱心に絵本づくりに取り組んでいる人がいること。	絵本は自分の心を表現できるんだね。様々な年代の人の心に残る絵本をつくるSさんって素敵だね。
・戸部のまち ・戸部のまちの人々 ＜地域＞	子どもたちのことを見守ってくれている人が多くいることで、あたたかい戸部のまちがつけられていること。 小さな子や親子のために困っていることを共有できたりイベントが開催されたりする場所があること。	僕たちを含め様々な立場の人を支えてくれている人の優しさで、戸部のまちはできているんだね。 様々な場所でたくさんの人に自分たちのつくった絵本を読んでもらえたね。

(3) 単元目標

「絵本を読むことで地域のあたたかさを知ってもらい、戸部のまちをもっと好きになってほしい」という夢の実現に向けて、絵本をつくり読んでもらう活動を通して、よりよい絵本の内容や構成、表現方法を考えることができ、絵本の魅力、地域の人々のあたたかさによって戸部のまちがつけられていることに気づき、まちの一員としてまちのためにできることを考え、取り組もうとする。

(4) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①戸部のまちのことを思う人が多くいることで、あたたかい戸部のまちがつけられていることに気付いている。 ②絵と言葉の効果的な使い方の工夫や多くの人の心に残る絵本づくりに取り組むSさんの思いに気付いている。 ③戸部のまちのあたたかさが伝わったかどうかを知るために、相手や場面に応じた方法でインタビュー調査を実施している。 ④絵本の完成や読み聞かせ会の成功は、戸部のまちのよさを探究的に学習してきた成果だと気付いている。	①西区役所や幼稚園の方の話や自分たちの経験をもとに、必要なものや活動の順序等に見通しをもって計画している。 ②まちのあたたかさを知るために、質問する対象や内容を吟味しながら必要な情報を収集している。 ③まちのあたたかさが伝わるかという視点で、題材や絵、言葉の内容や配置等を比較し改善点を見つけている。 ④小さな子や保護者に、より伝わる表現方法を選んで、絵本や読み聞かせの方法を改善したり工夫したりしている。	①自分の得意なことを生かしながら、協力して絵本づくりや読み聞かせ等の役割を分担し取り組もうとしている。 ②戸部のまちをもっと好きになってもらえるように、まちのあたたかさを題材にした絵本づくりに粘り強く取り組もうとしている。 ③相手の意図を意識して自分の考えを伝えたり受け入れたりしながら、よりよい絵本にするための方法を見出そうとしている。 ④絵本の魅力やSさんの思いに気付いたり、自分らしさを大切にしようとしたりしながら活動を振り返ろうとしている。

(5) 単元の学習活動の流れ

小単元の学習課題・学習活動(評価計画) 期待する姿容

【学びどころ】 ●関連する教科等

I 今年の総合は？ ⑧

- 総合で大切にしたいことを話し合う。
- 小さな子や保護者のまちの課題を知るために、西区役所の方や幼稚園の先生から話を聞く。(思①)

今年の総合は、今まで目を向けていなかった小さな子が笑顔になれるようなものにしたいな。小さな子や保護者の方はどんなことに困っているの？西区役所の方や幼稚園の先生に聞いてみよう。地域のことを知ってもらうには、どんな方法があるのかな。絵本だったら、戸部のまちのあたたかさが伝わって、もっとまちのことを好きになってもらえるね。どんな絵本をつくったら、楽しく戸部のまちで過ごせるかな。

●「わたしたちの暮らしを支える政治」(社会)
地方公共団体の政治が、住民の生活の安定と向上を図る働きをしていることを理解する。

【小単元Iの学びどころ】

西区役所や幼稚園で小さな子や保護者が抱える課題を調べる活動を通して、地域の情報が少なく不安に感じていることに気づき、「絵本を読むことで地域のことを小さな子や保護者に知ってもらい、戸部のまちで楽しく過ごしてほしい」という夢をもつ。 <地域>

II 絵本の題材を決めよう！ ②⑥

- 自分たちがめざす絵本を確認し、題材を決め、題材ごとにまちで取材する。(知①、思②)
- 絵本作家Sさんから絵本の作り方を教えていただき、グループごとに絵本の構成をつくる。(知②、主①)

小さな子に知ってほしい戸部のまちの関わりって何だろう。今までお世話になったまちの人が登場する絵本をつくりたいな。絵本の作り方をSさんに教えてもらったよ。まずは、戸部のまちに取材に出かけよう。戸部のまちの人は笑顔で話しかけてくださるから嬉しいね。そんな人たちによって、戸部のまちはできているんだね。戸部のまちのあたたかさをいろんな人に伝えたいな。もう一度取材に行って題材を決めよう。お互いに見合って、ストーリーができたよ。Sさんにも見ていただきたいな。よし、自分たちのめざす絵本にするための台割は完成だね。絵本に表現していこう。

●「地域の施設を活用しよう」(国語)
読書生活にかかわる地域の施設に関心をもち、目的に応じて活用する。

【小単元IIの学びどころ】

子どもたちのことを見守ってくれている人が多くいることで、安心して過ごしやすい戸部のまちがつくられているという小さな子に伝えたい戸部のまちの魅力に気付く。 <地域>

III 62とべまち絵本を完成させよう！ ⑤

- 絵と言葉の効果を考えながら、グループごとに絵本をつくる。(主②)
- 幼稚園の先生に絵本を読み聞かせしていただき、反応を見たり、幼稚園の先生や保護者の方に話を聞いたりする。(知③、思③)
- 絵本作家Sさんに見ていただき、自分たちがめざす絵本になっているか話し合う。(主③)

次は、幼稚園で小さな子どもたちの反応を見たり、大人にも反応を聞いたりして、さらに改善しよう。それぞれのグループの絵本を読み合って、自分たちがめざす絵本になっているね。完成した絵本を戸部のまちに届けたいな。

●「『鳥獣戯画』を読む」(国語)
筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考える。

【小単元IIIの学びどころ①】

小さな子を含めた幅広い年代の方に自分の思いが伝わるように、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいるSさんの思いを理解する。 <キャリア>

●「物語から広がる世界」(図画工作)
物語を読んで感じたことや表したいことを描いたり言葉で整理したりする。

【小単元IIIの学びどころ②】

絵本は、絵と言葉を効果的に使い、小さな子に分かりやすく伝えることができ、絵本を読んでもらうことで、読み手と聞き手とのつながりを生むことができることを理解する。 <文化>

IV 絵本を届けよう！ ⑪

- 読み聞かせ会を計画し、役割に分かれて準備する。
- 読み聞かせ会を開く。(思④)
- これまでの学習を振り返る。(知④、主④)

読み聞かせをよく聞いてくれて嬉しいね。より戸部のまちのことを知ってもらえたよ。自分たちが知らなかった場所で、こんなに小さな子や保護者の方のための取組がされていたんだね。絵本が完成し、読み聞かせ会が成功したのは、幼稚園の先生方や絵本作家のSさん、友達の協力、自分たちの頑張りの成果だね。これからも自分たちがつくった絵本が読み続けられるといいな。戸部小学校を卒業してもあたたかい戸部のまちのためにできることを見つけて、まちの一員としてできることに取り組みたいな。

●「自分らしさを伸ばす」(道徳)
自分の個性や長所を知り、それを生かしていこうとする意欲を育てる。

【小単元IVの学びどころ】

いただいた様々な反応を分析したり、活動に協力して下さった方が多くいたことを振り返ったりすることを通して、自分たちの活動の成果に気づき、これからも戸部のまちの一員として、まちのよさを大切にしていこうとする。 <地域>

② 事業実施報告書詳細

学校名 戸部小学校

II 絵本の題材を決めよう！ ㉞

Sさんの話から、めざす絵本を考えよう ②

絵本作家Sさんから絵本のつくり方を教えていただき、自分たちがめざす絵本について話し合う。

- ・絵本ってどうやってつくるんだろう。
- ・絵本をつくるって、たくさんの行程があるんだね。やっぱり簡単じゃないね。Sさんは、まず絵本をつくる前にしっかり取材をすることが大切だって教えてくれたよ。
- ・何を質問したらいいかまとめて、取材に行こう。

伝えたい戸部のまちなあたかさて？ ㉟

絵本の題材を決めるために、戸部のまちなを観察したり、インタビュー調査したりする。

- ・今まで関わったまちなの人にインタビューしたいな。まちなのつながりを伝えるお話になりそうだね。
- ・戸部のまちなの人たちって、まちなや人のために様々なことをしてくれているんだね。今まで調べてきた関わりって、まちなあたかさにつながりそう。そんなあたかさが伝わる絵本にしたいな。
- ・見守り隊の人のことは、お話に入れたいな。毎日、僕たちのために天気が悪くても笑顔でいてくださるね。

絵本で伝えたい内容を一言で表したり、起承転結に整理したりする。

- ・交番にいるOさんは毎日挨拶しているだけでなく、学校の話もできるところがあたたかいよ。そのエピソードを入れた方がいいね。
- ・不安だった主人公が笑顔になったら、気持ちの変化が分かりやすいね。
- ・起承転結が整理できたら、どのページに何をかくか台割を考えよう。

自分たちで見合ったり、絵本作家Sさんからいただいた視点で修正したりして、台割を完成させる。

- ・台割を作ってみたけど、やっぱり言葉の長さが分からないな。どうしたらいいのかSさんに教えていただこう。
- ・「絵のアップとルーズのバランス」の視点で見合おう。ここが一番伝えたい場面だから、まちなの人をアップでかきたいな。
- ・Sさんは、いつも読み手のことを思って、こんなにたくさんをを考えながら絵本をつくっているなんて、すごいな。
- ・Sさんに見ていただいた視点も取り入れて台割を修正したよ。いよいよ台割が完成だね。

めざす絵本に近付いたかな？ ③

完成した台割を見合い、これまでの活動を振り返る。

- ・台割が完成したのは、何度も修正した自分たちの頑張りもあるね。だけど、何より何度も見てアドバイスをくださったSさん、これまでたくさん関わってくださったまちなの人たちのおかげだね。
- ・どんな絵にしようかな。お店の人はどんな表情にしたら、より私たちの思いが伝わるかな。これから絵本をつくるのが楽しみだね。

○本小単元に臨む子どもの姿

小さな子どもが抱える問題を知るために、西区役所の方に質問する活動を通して、「親子のつながりや地域とのつながりが希薄化している」ことに気付いた。S幼稚園のS先生からのアドバイスもあり、絵本を通して小さな子を含めた戸部のまちなの人がつながりをもてるような活動にしようと思

【小単元IIの学びどころ②】

○期待する変容

戸部のまちなのことを思ってくれている人が多くいることで、あたたかい戸部のまちながつくられているという幼児に伝えたい戸部のまちなの魅力に気付く。 <地域>

○本小単元のしかけ

取材した内容は学級全体で共有し、学級全体でどのような題材にするのか決定する時間を設定する。その際にこれまでの登下校や総合的な学習の時間でかかった方との活動や地域の方の思いを想起する時間を設ける。

Ⅲ 62 とべまち絵本を完成させよう！

25

62 とべまち絵本をつくろう

10

台割をもとに、絵本をつくる。

- ・62 とべまち絵本の思いが伝わる絵本にするために、S さんから絵のかき方を教えてもらおう。
- ・S さんは、読んでいる人を楽しませたり、一緒に読んでいる人のことも考えたりしているんだね。S さんは「思いを絵本の力を借りて伝えている。」って言っていたね。そのための努力や工夫がすごいな。
- ・僕たちも台割をもとに協力して絵本をつくろう。
- ・他のグループと見合って、6年2組全体がめざす絵本になるようにしていきたいね。

それぞれのグループの絵本を見合い、参考にしたりアドバイスし合ったりして、繰り返し絵本をつくる。

- ・主人公の「表情」を変えると、言葉がなくても気持ちが伝わるから、分かりやすいね。
- ・昔話みたいに言葉を繰り返すと、リズムカルで楽しんで読んでもらえそうだね。
- ・絵本をS さんに見てもらって、アドバイスをもらおう。

S さんに見ていただき、修正しよう

4

S さんに絵本を見ていただき、アドバイスをいただく。

- ・S さんに「いい絵本になったね。」って言ってもらえたよ。今まで試行錯誤してきたよかったな。
- ・S さんはいつも対象の子どもに絵本を読んで、その反応によって絵本を改善しているんだって。プロでも繰り返しくり直しているんだね。
- ・実際に小さな子どもたちの反応を見てみたいね。

幼稚園で読み聞かせしていただく

8

幼稚園の先生に読み聞かせしていただき、小さな子どもたちの反応を見たり、アドバイスをいただいたりして、修正す

- ・小さな子どもたちが、笑ってくれたよ。あのストーリーにして正解だったね。
- ・幼稚園の先生に「言葉の位置は統一すると読みやすい。」って教えてもらったよ。修正しよう。
- ・もう一度、幼稚園の先生に自分たちの絵本を読み聞かせしていただいて、反応を確かめよう。
- ・私たちの伝えたい戸部のまちのあたたかさが小さな子どもたちや保護者の方にも伝わって、あたたかさが広がった気がするよ。絵本の力ってすごいね。
- ・やっと完成だね。みんなで読み合おう。

めざす絵本になったかな

3

完成した絵本を読み合い、これまでの活動を振り返る。

- ・全てのグループの絵本がめざす絵本になったね。
- ・絵本が完成したのは、何度も修正した自分たちの頑張りのあるね。だけど、何より何度も見てアドバイスをくださったS さん、これまでたくさん関わってくださったまちの方々のおかげだね。
- ・絵本を届けて、小さな子どもの反応を見るのが楽しみだね。

Ⅳ 絵本を届けよう！

11

○本小単元に臨む子どもの姿

「絵本を読むことで地域のあたたかさを知ってもらい、戸部のまちのことをもっと好きになってほしい」という夢の実現に向けて、題材ごとのグループに分かれて、これまでの経験を振り返ったり、小さな子に対するまちの人の思いをインタビューしたりして情報収集してきた。それぞれの題材と夢とのつながりを確認しながら、取材を繰り返した。取材内容をもとに台割を作成し、お互いに見合ったり絵本作家S さんに見ていただいたりした。構成メモをもとに、いよいよ絵本をつくろうと思いを高めているが、どのような工夫を取り入れながらつくろうか考えているところである。

【小単元Ⅲの学びどころ①】

○期待する変容

小さな子を含めた幅広い年代の方に自分の思いが伝わるように、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいるS さんの思いを理解する。

<キャリア>

○本小単元のしかけ

S さんの感じる絵本の魅力や絵本づくりに対する思いと関連付けて、これからの活動の視点をもらえるように、事前に打ち合わせをする。

【小単元Ⅲの学びどころ②】

○期待する変容

絵本は、絵と言葉を効果的に使い、小さな子に分かりやすく伝えることができ、絵本を読んでもらうことで、読み手と聞き手とのつながりを生むことができることを理解する。

<文化>

○本小単元のしかけ

幼稚園での読み聞かせにおいて、読み手と聞き手とのつながりを知るために、読み聞かせの際に気を付けていることやいつも園児に読み聞かせをすることで、園児のことをより知ることができたり、読み手の思いが伝わっているなど感じたりした経験を話していただけるよう打ち合わせする。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>地域の方に事前に取材の趣旨をお伝えし、対応していただきました。</p> <p>取材の予約をとるために、子どもたちが電話や直接お店に訪ねました。</p> <p>どのような言葉で予約をしたらよいのか考え、文章を学級全体で共有しました。</p> <p>教員がグループに1人付き添い、取材の様子を見守ったり見取ったりしました。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>取材の日程調整や意図を共有するところに時間をかけました。</p> <p>絵本の下書きに使用する用紙を地域の印刷所の方と相談して色鉛筆や絵の具の発色がよくなるよう打ち合わせを重ねました。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>自分たちで取材の予約を取る際には、緊張した姿を見せていましたが、達成感もあったようです。</p> <p>教室の中で想像したり、思い出したりするだけでは見えてこない、地域の方の思いや営みに触れることができました。</p> <p>絵本を作り始めてからも内容の確認をとるために地域の方と関わる中で、思いに触れることができたようです。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>地域の方との事前打ち合わせでは見られなかった子どもに対する温かいまなざしを見ることで、教員側の意識も高まりました。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>1年間を通して取り組んだのですが、絵本をつくる作業がどうしても増えてしまい、地域をじっくり見る時間や地域の人と関わる時間が減ってしまいました。どのように表現するのか改めて考えていく必要があるなど感じました。</p>